役割

「こども若者★いけんぷらす」の運営に、ともに携わるこども・若者として、こども家庭庁とともに、課題の洗い出し・設定、解決策の検討や実行を通して、事業改善に取り組む。

「みんなのパートナー ぽんぱー」の由来

『みんなのパートナー』はこども達と対等な関係で寄り添う存在であることを示す言葉、『ぽんぱー』はポンプのように意見をくみ上げていく役割をイメージさせる言葉として、ぽんぱーが考えたものです。

令和7年度募集や選考の結果

<募集期間> 4月11日(金)~5月7日(水)

<応募者数> 60人(ぷらすメンバーから募集)

<選考方法>

以下2点の作文(各400字)及び面談等による選考

- ・ぽんぱーとして活動したいと思った理由
- ・ぽんぱーとしてやりたいこととその理由

<選考結果>

計12人

年代別:中学生3人、高校生年代4人、大学生·大学院生3人、 社会人2人

男女比:男性6人、女性6人

地域別:北海道·東北:2人、関東:6人、近畿1人、中国·四

国:1人、九州:2人

新規・継続:昨年度から継続3名、新規9名

具体的な取組の内容

※活動期間:令和7年8月~11月(予定)(活動回数:全5回) 各回10:00~16:00(1時間のお昼休憩含む)

※開催方法 ハイブリッド

ぽんぱー各回テーマ

第1回 8月2日(土) いけんぷらすの認知度の向上策について 第2回 9月7日 いけんぷらすの登録率向上について (日) 第3回 10月4日 いけんひろばへの参加のしやすさについて (土) 第4回 11月8日 フィードバック・資料のありかたについて (土) 今後のぽんぱー、いけんぷらすのあり方について (日) て

議論の活用先(予定)

- ·令和7年度事業の運営方法(SNS広報等を含む)
- ・令和8年度事業の運営、調達仕様書 等

第1回会議の結果

第1回会議において、中学生の認知向上及び登録促進を目的として、事業を紹介するA2判ポスター及び名刺型のチラシを全国の中学校に配布することが決定した。

第一回ミーティングで決まったこと ポスター・チラシを全国の中学校に配る

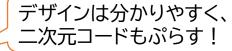
全国の各中学校に配るもの

- ·A2判ポスター(2枚)
- ・カード型チラシ(500枚:全員分)

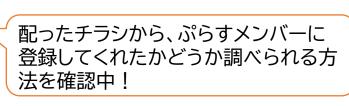
カード型チラシについては、デザイン 費も含め見積もりをして予算内で実 施できるよう検討しているところだ よ!

学校種別	校数(全国)
中学校	9,882校
義務教育学校(後期課程)	238校
中等教育学校(前期課程)	59校
特別支援学校(中学部)	1,191校
学びの多様化学校(中学生対象)	58校
合計(見積対象校数)	11,428校

学校に知らせる内容文を一緒に考えてもらえると、うれしい!



学校以外の居場所などにも配布でき るよう相談しているよ!





第2回会議の結果

第2回会議では、認知から登録へ進んでもらうために、どんなことが登録へのハードルとなっているのかを洗い出し、解決のための対応策と取り組む優先度を議論・整理した。

すぐに改善できること

- ①反映内容をWeb、ホームページで示す
- ②フィードバック資料を改善する。(第4回での議論?)
- ③自治体での取組との連携(互いの周知広報)、ひろばの地方開催を増やす
- ④ぽんぱーによる広報

2025年度の運営の中で改善(~2026年3月)

すぐにはできないけど、やるべきこと

- ①反映内容をポスターで示す(QR搭載など)
- ②年齢確認を経ずとも仮登録を可能に
- ③ぷらすめんばーであるデジタル証明書の発行
- ④自治体でのいけんひろば開催を増やす
- ⑤HPの修正(Q&Aをわかりやすくする など

2026年度のいけんぷらすの改善(実施:2026年4月~2027年3月)

*例:来年度いけんぷらすで何をするか、何を変えるかの検討会議(11月頃〜)で議論する 来年度いけんぷらすの仕様書に盛り込む

今後目指していきたいこと

①意見係のみでなくこども家庭庁全体に対して、 関わっている実感が湧く・また相談したいと思え るような返答・リアクションがあること。

②アプリ導入

2027年度(実施:2027年4月~2028年3月) ⁴ *例:実現に向けて検討して、2027年度の予算要求に盛り込む